



主な内容

- 1~5……創刊1000号記念特集
- 6……夜間休日に病気になったら…
- 7……介護保険料の納付
- 8……5月の相談、防犯だより

皆さんに支えられて  
歩んできました

# 1000号

創刊1000号記念特集

昭和30年に創刊した名張市の広報紙は、今号で1,000号を迎えました。この機会に、広報紙のことをもっと知っていただき、これからの「広報なばり」のあり方を考えます。

☎ 広報対話室 ☎ 63・7402

### 16.64円

### 今号1部あたりの経費

8ページの場合、編集・印刷に1部あたり9.76円、新聞折込に6.88円の経費がかかります。なお、4ページだと、編集・印刷に5.08円、新聞折込に4.0円(いずれも税抜き。人件費などを除く)。広報紙作成・配布の年間予算は、約1,900万円です。

### 35,700部

### 「広報なばり」発行部数

「広報なばり」は新聞折込で皆さんにお届けしています。新聞を購読されていない人のために、公民館・市民センターや郵便局などの公共施設のほか、スーパーやコンビニなどの協力店に設置。取りに行くことが困難な場合は郵送もします。

### 145人

### 市民広報特派員 ※のべ人数

「市民広報特派員制度」は、市民参加の広報紙づくりのために、平成4年度から実施しています。これまで、のべ145人の市民の皆さんにご協力いただき「特派員レポート」という記事作成に携わっていただきました。今後も、市民参加型の広報紙づくりを目指します。

## ● 数字でみる広報紙の姿

### 1,000号特別企画 1

### 4団体 1,733

### 広報紙を年に48回(月4回ペース)で発行している自治体数 ※19年度日本広報協会調べ

平成16年に月4回発行とした「広報なばり」。市の情報をできる限りタイムリーに、そして、ひとまとめにしてお届けしています。都道府県や市町村1,733団体のうち、年間48回の発行回数としているのは4団体。全国でも珍しい発行形態です。

### 73.6%

### 情報提供や広聴制度に満足している市民の割合 ※24年度市民意識調査

「広報なばり」をはじめとする市の情報提供や広聴制度について「満足」とする人は73.6%。年齢別では、60～64歳で84.1%と特に高くなっています。

### 13歳以上

読者の対象年齢  
中学生以上を対象読者として想定し、分かりやすい表現を心がけています。

### 9年連続

### 県広報コンクールでの受賞

編集の専門家などによる客観的な評価を受けるために、自治体が発行する広報紙のコンクールに出品。県コンクールでは、平成16～21年度に入選、平成22～24年度に特選と、9年連続の受賞。地震対策を特集した23年10-3号は、全国広報コンクールで3席を獲得しました。今後も地域の課題を取り上げながら、質の高い広報紙を目指します。

